

保険代理店経営革新アカデミー

「保険代理店の『戦わない経営』戦略セミナー」開催

保険代理店の将来像を考える

保険代理店経営革新アカデミー(松本一成代表)は1月27日、ベクトルセミナールーム



パネルディスカッションの様相



グループワークのようす

(東京都千代田区)では、保険代理店や保険会社などから約30人が参加。各保険代理店がそれぞれの将来ビジョ

ンを描き、具体的な行動へ踏み出すための土台づくりを目的に、参加型セミナーとパネルディスカッションの2部構成で実施した。

同アカデミーは、保険代理店の経営革新をバックアップする目的で1月1日、日本リスク総研(東京都千代田区、松本一成社長)、青山リスクマネジメン

ト(同港区、佐野友映社長)、カフト(同品川区、行木隆社長)、ブレインマークス(同

足立区、安東邦彦社長)の4社が発起人となって設立した任意団体。今回は、発足後初のセミナーとなった。

はじめに「激動の保険業界を振り返る」と題して、リスクマネジ

メント担当の佐野氏が進行役となり、1996年以降の動きを参加者全員で振り返った。

その後、第1部では「時代を乗り切るために求められる保険代理店像とは？」をテーマ

に参加型セミナーを実施。松本代表とマーケティング担当の安東氏が進行役となり、代理店の存在意義や顧客に選ばれる代理店に必要な要素について、参加者がグループワーク形式で自身の考えをまとめた。

第2部では、佐野氏がファシリテーター、松本代表、安東氏、システム担当の行木氏の3氏がパネリストとなり、パネルディスカッションを実施。「代理店が『戦わない経営』を実現する3つの経営力」をテーマとして、パネリストたちが日頃の経験などをもとに意見を発表した。

セミナー終了後、参加者からは「今後の展開が期待できるセミナーとなった」「経営についてさらに専門的な内容や、他業界での好事例との比較などをテーマとして取り上げてほしい」という感想が寄せられた。また、松本代表は「無事にスタートを切ることができてよかった。保険代理店の皆さまへさらに役立つ情報を提供できるようにここで一度気を引き締めていきたい。今後、多くの方に参加していただき、SNSやセミナーを通して自社の経営に役立ててほしい」とコメントを述べた。